

2007年度事業報告(概要)

有限責任中間法人学術著作権協会(以下JAACC)は、2002年2月12日著作権等管理事業者として文化庁に登録し、現在に至っている。2007年度においても事業計画にそくして経常事業並びに重点事業を実施した。2007年度末におけるJAACCの正会員は、社団法人日本工学会、日本歯科医学会、日本農学会、社団法人日本薬学会の4会員である。

1.複写権等委託団体および管理著作物は別表(ホームページ掲載)の通りである。

2.受け入れ複写使用料の国内外権利者への分配を実施した。具体的な複写使用料受け入れ額と、分配金額は、決算書記載の通りである。

3. JAACC ホームページ(英文)の新規開設

JAACC ホームページ英文ページの充実と円滑な閲覧システムの構築を図ると共に、新たに受託学協会の海外広報と著作物の海外普及、許諾の円滑化を目的とした英文ホームページを新規開設した。

4.事業推進に係る活動として「企業活動と著作権」と題して尾崎史郎メディア教育開発センター教授(前文化庁長官官房著作権課マルチメディア著作権室長)を講師に東京および大阪においてJAACC講演会を開催した。

更に、企業団体並びに個別企業を対象とした著作権処理並びに複写許諾契約に関する説明会を大阪及び東京の2会場で開催した。

5. International Federation of Reproduction Rights Organisations Annual General Meeting 2007 Dublin (IFFRO AGM 2007 Dublin)、The 28th IPA Publishers Congress Seoul 2008へ職員を派遣し、各国RROとの交流を図ると共にJAACCの活動状況について啓蒙活動を行った。

6.会議の開催

社員総会(2007年6月11日開催)、理事会(2007年6月11日、2008年1月22日、3月18日、6月12日開催)、運営委員会・機構会議(1回開催)を開催いたしました。

7.監査法人による監査等の実施

経理処理は、役職員による監督の下に事務局規定に則って実施すると共に、前年に引き続き随時会計事務所(税理士)による点検を受け、会計業務を含む業務全般について監査法人による業務指導を受けております。